

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(322)(HP 収載) —チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番—

1. 始めに

前報(321)に引き続き、STAGE+のユージヤ・ワのチャイコフスキーのピアノ協奏曲の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(321)に引き続きユージヤ・ワのチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番を選びました。

ユージヤ・ワがチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番を弾き振り
カーネギーホール 2025年

収録日: 2025年10月7日

カーネギーホール主催の「ナショナル・ユースオーケストラ USA (NYO-USA)」は全米から集まった優れた若手演奏家たちによる特別な団体です。本映像のメンバーは同団の卒業生たちで、才能あふれる彼らを導くのはダニエル・ハーディング。プログラムにはバーンスタインの《ウェスト・サイド・ストーリー》の〈シンフォニック・ダンス〉にストラヴィンスキー《火の鳥》組曲という情熱的なプログラムが並びます。さらに、チャイコフスキーのピアノ協奏曲ではユージヤ・ワが登場し、弾き振りを披露。オーケストラを牽引する指揮と華麗なピアニズムにご注目ください。

ソリスト:

ユージヤ・ワ (ピアノ)

演奏:

NYO-USA オールスターズ

指揮:

ダニエル・ハーディング

曲目:

レナード・バーンスタイン

《ウェスト・サイド・ストーリー》からシンフォニック・ダンス (抜粋)
ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー ピアノ協奏曲第1番変ロ短調 op. 23
ユージヤ・ワ(ピアノ)
イーゴリ・ストラヴィンスキー バレエ組曲《火の鳥》(1919年版)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

バーンスタインの《ウェスト・サイド・ストーリー》のシンフォニック・ダンスは、いかにもアメリカの映画音楽といった勢いのある曲です。

チャイコフスキーのピアノ協奏曲第 1 番の弾き振りというのは初めてで、ユージヤ・ワンはオーケストラのパートでは立ち上がって指揮をします。ユージヤ・ワンのピアノはいつものとおり華麗なテクニックを見せつけるように乗りのよい演奏です。

ストラヴィンスキーのバレエ組曲《火の鳥》は、前衛的なバレエ音楽の攻撃的な演奏でユージヤ・ワンもピアノ担当で参加しています。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しま

したようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザに交換した結果、映画音楽、チャイコフスキイ、前衛的なバレエ音楽のそれぞれの表情を表現できていました。

以上